



市議会だより

No.68 平成30年8月1日号



信州上田大花火大会「夏の歓喜」
(上田市デジタルフォトコンテスト受賞作品)

9月定例会は
9月3日(月)
開会です。

本会議の概要	2
常任委員会審査概要	4
23人の議員が市政を問う	6
政務活動費収支報告	17
会派の紹介	18
平成30年度議会報告会開催	20
編集後記	20

将来への想い 高校生の声

上田千曲高等学校

上田千曲高等学校は、昨年度創立100周年を迎えた伝統ある「総合的専門高校」です。他にはない魅力がある、ここでしか学べない特色のある「オンリーワンの学校」です。今回は、同校専門科の「地域と連携した学び」を紹介します。

千曲川を 守ろう! 活動

食物栄養科



千曲川の環境や生態系が近年危機的な状況にあることを地域の方からお聞きました。実際みんなで釣りをしてみたところ、「コクチバス」だけが面白いように釣れ、千曲川の現状を目の当たりにしました。

そこで、私たちは「コクチバス」をおいしく料理して食べようという活動に取り組みました。さばき方を教わり、どんな風に調理するとおいしく食べられるのか何度も試作をし、バスピカタやバスピザ、バスバーガーなど8品の料理を考案しました。

日頃、上田千曲高校を支えてくださっている地域の方々に感謝し、専門科で学んだことを地域のために生かす活動を今後も大切にしていきたいと思っています。

ちくま ハートカフェ

生活福祉科



昨年「第1回ちくまハートカフェ」を開催しました。私たちは、専門科で学んだ知識を生かし、さらに高齢者への理解を深めたいと考え、近隣の高齢者や施設を利用する方を本校にお招きしたのです。

参加者とお茶を飲みながら会話をし、私たちが考えた「詐欺に遭わないための寸劇」などを披露しました。当日は30名ほどの方に参加をしていただき、「また参加したい」という声をいただくなど好評でした。

今年度は「第2回ちくまハートカフェ」を実施します。「憩いのひととき」をテーマとして、参加者に喜んでもらえるカフェにし、このカフェをきっかけにさらに高齢者の皆さんへの理解を深めていきたいと考えています。

6月定例会

新市長の政治姿勢をたどす

～施政方針演説に対して～

6月定例会は、6月4日から6月25日まで22日間の会期で開かれました。

市長提出議案は平成30年度一般会計補正予算をはじめ、条例の一部改正や事件決議、専決処分に係る報告議案等が提出され、採決の結果、全て可決、承認または同意とされました。

上田市議会4期目がスタートして初めての一般質問には、各会派から代表質問5人と新人議員を含む合計23人の議員が登壇し、新たに市政を担う市長の施政方針や市政の課題について活発な議論が交わされました。



予 算

骨格予算だった当初予算に

新規事業の経費などを肉付け

平成30年度一般会計補正予算は、7億8238万円余を増額し、総額66億1712万4千円となりました。

そのほか、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、産婦人科病院事業会計、公共下水道事業会計の補正予算が提出され、全て可決されました。

補正予算の主な内容

(一般会計)

◆市庁舎改修・改築事業 927万円

本庁舎の改修・改築に伴う仮庁舎への移転や新本庁舎建設工事総合評価審査委員会に係る経費

◆空き家情報バンク運営 400万円

空き家情報バンク事業の安定的な運営と空き家の利活用を図り、移住定住を促進するため、不動産業に精通する高い専門性と地域の状況を熟知した経験を有する専門職員

1人を市役所内に配置する経費。

◆公文書館・丸子郷土博物館整備事業 5859万円

丸子郷土博物館の一部を公文書館にするための整備及び文書目録検索システム構築に係る経費の追加計上

◆病児・病後児保育施設整備事業補助金 1447万円

丸子中央病院が設置する病児・病後児保育センターに係る工事費及び備品購入費等への補助金

◆都市農村交流推進事業 1300万円

殿城地区に滞在型市民農園(クラインガルテン)を整備する事業の実施設計等に係る経費

◆保育所建設事業 1892万円

神川地区拠点施設(神川統合保育園・神川地区公民館)整備及び丸子統合保育園整備に係る経費

の追加計上

◆部活動指導員任用事業 121万円

「働き方改革」の一環として、教員の部活動業務に係る負担の軽減を図り、授業準備や生徒指導に専念できる環境づくりのため、国・県の部活動指導員制度を活用し、中学校部活動に部活動指導員を3人任用するための経費



公文書館が整備される丸子郷土博物館

条例

市税条例中一部改正など全6件を可決

主な内容

◆「市税条例中一部改正」

生産性向上特別措置法の施行及び地方税法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。具体的には、償却資産に係る固定資産税の特例率をゼロにすることでものづくり補助金等の優先採択、補助率アップの支援措置が受けられ、市内の中小企業の設備投資を強く後押しすることができるといふもの。

◆「旅館業を目的とした建築の規制に関する条例」

件議
事決

北陸新幹線佐久平・上田間小牧橋補修及び耐震補強工事に関する協定の締結など6件を可決

主な内容

◆北陸新幹線佐久平・上田間小牧橋補修及び耐震補強工事に関する協定の締結について

平成23年度策定の橋梁長寿命化修繕計画の一環で、平成24年度から順次修繕、耐震補強を実施し

例中一部改正

旅館業法の一部改正、施行に伴い、旅館業を目的とした建築の規制に関する条例中に引用する旅館業法の条項にずれが生じたため改正を行うもの。

◆「福祉医療費給付金条例中一部改正」

福祉医療費給付事業のうち中学校卒業までの医療費について、平成30年8月から全県統一で現物給付方式が導入されることに伴い、県の補助金交付要綱等が改正されたため、所要の改正を行うもの。

◆「指定地域密着型サービス」

ビスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等中一部改正

「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令」等の公布に伴い、関係する条例について所要の改正を行うもの。

【その他可決した条例】

・介護保険条例中一部改正
・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例中一部改正

◆「その他可決した事件決議」

営中山間地域総合整備事業（殿城地区）の実施に伴う字の区域変更について、議決を求めるもの。

・市道路線の認定について
・市道路線の廃止について
・市道路線の変更について
・除雪機の購入について

報告

専決処分した条例3件、補正予算6件及び物損事故に係る和解を承認

◆「市税条例等の一部改正」

「都市計画税条例の一部改正」、「国民健康保険税条例の一部改正」（3月30日付専決処分）

いずれについても、平成30年度の税制改正に伴う各関係法令の可決成立を受け、それぞれ平成30年度分の課税をするに当たり急を要するため、専決処分により、各条例中の所要の改正を行ったもの。

◆「平成29年度一般会計補正予算第7号」

主に予算の最終調整のための減額のほか、公共

◆「倒木による物損事故に係る和解」

施設整備基金への積立金として2億円が計上され、差し引き8億9440万6千円を減額し、総額6億799万8千円となったもの。した上田市有林からの倒木による物損事故について、被害者と和解が成立したため、平成30年3月12日付で専決処分を行ったもの。

【その他承認された報告議案】

・土地取得事業特別会計補正予算（第1号）
・国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
・後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）
・社会福祉施設事業特別会計補正予算（第3号）
・駐車場事業特別会計補正予算（第2号）

◆人事案件（敬称略）

農業委員会委員の任命

青柳東一	（下長瀬）	近藤 隆英	（蛇 沢）	手塚 明	（諏訪形）
新井 要一	（菅 平）	柴崎 義和	（下 郷）	中澤 健一	（秋 和）
飯塚 芳幸	（保 野）	下村 邦彦	（腰 越）	西村 勇	（御嶽堂）
和泉 潤一	（上室賀）	白石 武夫	（大 屋）	堀内 英夫	（上横道）
伊藤 利孝	（下之郷）	鈴木三千夫	（小沢根）	松久 宏明	（沖 一）
小出 英明	（東前山）	鷹野 治夫	（坂 井）	宮崎 一男	（小 泉）
小林 亨	（西野竹）	高橋 牧尋	（川辺町）	柳田 平和	（荻 窪）
小宮山民夫	（横 沢）	龍野 藤人	（石 神）	横沢 了	（天 畑）

一般会計補正予算

問 新本庁舎建設工事
総合評価審査委員
会委員報酬として5人
分を計上しているが、
どのような委員構成を
想定しているか。

答 総合評価落札方式
を実施するに当た
り、地方自治法施行令
において落札決定基準
の決定及び必要に応じ
落札者の決定を学識経
験者2人以上から聴取
することが義務付けら
れていることから、委
員構成については、学
識経験者の専門家を中
心に建築関係の大学教
授、国土交通省の建築
の専門職員などを想定
している。

問 中学校の部活動指
導員を市内中学校
3校に各1人を雇用す
るということだが、今
後雇用の拡大は検討し
ているか。

答 今年度実施する3
校の部活動指導員
の活用状況を検証する
ほか、他の学校の意見
や希望等を踏まえ、今
後の雇用拡大について
検討していきたい。

専決処分した平成 29年度一般会計補 正予算の承認

問 交流文化芸術セン
ター事業基金積立
金として2事業分を基
金に積み立てるとのこ
とだが、収益事業は2
事業のみか。

答 公演、鑑賞事業等
の自主事業を実施
する中で、収益の上が
る事業は少ないことが
現状であり、大半の事
業は国などの助成金を
活用している状況であ
る。平成29年度におい
ては、2事業が事業費
を上回るチケット収入
があったことから、こ
れらを基金に積み立て
ている。

問 公共施設整備基金
積立金として2億
円を積み立てているが、
金額の根拠は何か。

答 積立金については
年度ごとの財政状
況を見ながら計上して
いる。なお、本庁舎の
耐震に係る経費を約75
億円と見積もり、3分
の1程度は基金で対応
するというところで積み
立ててきたところであ
り、平成29年度末で23
億円の基金残高となつ
た。

一般会計補正予算

問 観光施設整備事業
費では、別所温泉
北向観音裏観光トイレ
への多目的トイレの増
設と和式便器を洋式便
器に改修するための経
費を計上しているが、
観光客や別所温泉観光
協会等からの改修要望
を受け実施するものか。

答 昨年、別所温泉観
光協会と別所温泉
地区自治会連合会から
改修についての要望が
あり、補正予算におい
て改修に係る経費を計
上したものである。

問 内水面総合振興事
業補助金は、上小
漁業協同組合が行う千
曲川における外来魚駆
除の経費に対する補助
金とのことだが、外来
魚の発生状況はどうか。
また、駆除後はどのよ
うに処理をしているか。

答 上小漁業協同組合
の統計によると、
平成29年度では外来魚
のうちバス類が約74
00尾確認されるなど
近年は急激に増加して
いる状況である。また、
知名度が低いことから、
食用として利用される
外来魚は一部に留まり、
多くは処分されている
ことから、上小漁業協
同組合とも連携を図り、
有効活用を行っていく。

問 信州上田築市・楽
座負担金は、9月
に市内で開催予定の全
国規模のミニ四駆大会
にあわせ市内外の農産
物や食のPR及び交流
人口の拡大を図るイベ
ントを開催するための
実行委員会への負担金
であり、イベントへの
出展者は募集を行う予
定であるとのことだが、
出展者の市内と市外の
割合はどのくらいか。
また、出展料について
はどうか。

答 30から50ブースの
出展を見込む中で、
市内からの出展は約6
割、市外からの出展は
約4割を見込んでいる。
また、出展料は物販の
売上額の1割程度とす
る予定である。

総務文教委員会

- 6月15日に開催し、条例案2件、予算案1件、報告4件、請願2件の審査を行いました。

産業水道委員会

- 6月18日に開催し、予算案2件、事件決議案1件、報告2件の審査を行いました。

の審査概要

一般会計補正予算

問 貧困の連鎖の防止を目的とした子どもの学習支援事業において、今回新たに小学校4年生、5年生、6

年生を対象に学習支援をするための委託料を計上したとのことだが、どのくらいの人数を見込み、対象者への周知はどのように行うのか。また、学校との連携についてはどのように考えているか。

答 生活保護世帯の7世帯、8人への学習支援を見込んでおり、ケースワーカーが自宅を訪問する際に事業の説明をして、周知を図っていく予定である。また、学校との連携については、現在実施している中学生への学習支援において、学習支援の指導者との連絡会議の開催や、ケースワーカーが学校での様

子を先生から聞き、学習支援を行っている指導者に伝えるといった形での連携を行っており、対象を小学生に拡大した場合についても同様の連携ができるように考えていきたい。

専決処分した平成29年度一般会計補正予算の承認

問 周産期医療緊急対策事業費では、上

田市医師確保修学資金等貸付金及び上田市助産師確保修学資金等貸付金がそれぞれ減額されているが、応募状況はどうであったか。また、本制度の利用者が減少している中で、今後制度を改善していく考えはあるか。

答 医師確保修学資金等貸付金については、2人の見込みに対し1人の応募、助産師確保修学資金等貸付金については、応募がなかったため、それぞれ

厚生委員会

● 6月15日に開催し、条例案3件、予算案4件、報告5件の審査を行いました。

常任委員会

環境建設委員会

● 6月18日に開催し、条例案1件、予算案1件、事件決議案5件、報告2件、請願1件の審査を行いました。

一般会計補正予算

問 宝くじの収益金を活用した助成事業の申請数と採択率は何のくらいだったのか。

答 申請数は15件。一般社団法人自治総合センターが所管するコミュニティ助成事業の採択が2件、公益財団法人長野県市町村振興協会が所管する地域活動助成事業の採択が5件であり、採択率は

46.7%であった。

問 防災対策として河

畔林整備事業を実施することだが、河畔林整備事業を行う際、補助金として県の森林税が活用できるのはどのような河川か。

答 河川には1級河川、2級河川、普通河川、準用河川があるが、県の河畔林の整備事業については、準用河川が対象である。

専決処分した平成29年度一般会計補正予算の承認

問 現在のマイナンバーカードの取得率と取得者数はどのくらいか。また、当初想定していた取得率と比較してどう捉えているか。

答 平成30年3月1日現在で、上田市のマイナンバーカード取得率は9.8%である。また、取得者数は、平成30年3月31日で1万5

255人となっている。

マイナンバーカード加入者は着実にふえていると考えるが、今後も住民票等の交付窓口での案内等を強化して周知を重ね、引き続き加入増加に向け努力をしていきたい。

問 特殊詐欺等被害防止対策機器設置補助金について、対象と補助額についてはどうか。

答 補助の対象となるのは、特殊詐欺等被害防止機能付きの電話機であり、補助率は2分の1、限度額は5千円である。なお、昨年度の購入実績は62機である。

23人の議員が市政を問う

6月定例会一般質問要旨

6月定例会では一般質問を6月11日、12日、13日の日程で行いました。

掲載内容は、質問全体の一部を要約したものであり、質問議員本人が作成しています。

質問全体の内容については、会議録でご覧いただくことができます。

会議録は議会事務局、市内図書館及び公民館等で閲覧することができます。また、上田市議会ホームページでもご覧いただけます。

なお、一般質問の様子は上田ケーブルビジョン及び丸子テレビ放送にご協力いただき、生放送及び録画放送を行っていただいています。

代表質問

尾島 勝 議員（新生会）



資源循環型施設建設

問 選挙公約で最優先課題と位置付けた資源循環型施設建設の今後の展開をどのように考えるか。

答 （土屋市長） 資源循環型施設建設対策連絡会の皆さまと、今後は具体的な課題を定めて話し合うことを確認した。さらに信頼関係を深めるため、定期的な懇談を申し入れた。市政の舵取りをお任せいただいたこの4年間、強い決意を持って真摯な姿勢で、常に取り組みの先頭に立って行動していく。そして、地域の皆さまのご理解を賜り解決に向けた道筋をつける。

市民政策提言集団

問 選挙公約の市民の声を市政に生かすための市民政策提言集団とはどのようなものか。

答 （土屋市長） 重要度の高い政策決定等をする際に、専門的な知識をお持ちの市民の方に、提言、助言をいただき、市政運営の参考として円滑な事業実施を実現するための制度として考えている。

学校給食

問 選挙公約の中で、学校給食について触れているが、調理方式についてはどのような考えか。

答 （土屋市長） 全ての学校を自校給食に転換することは困難と考えている。学校敷地の状況、人員配置、施設建設、運営に要する経費等を踏まえ、実現可能かどうか確認したい。第一、第二学校給食センターの統合については、リスクの集中

等から施設規模が大きくなることによるデメリットもあると聞いており、疑問に感じている。自校給食の可能性の研究と給食センターの統合については、学校給食を所管する教育委員会に対し再検討を依頼した。

問 教育委員会が今まで打ち出してきた学校給食の方針に変更はあるのか。

答 （峯村教育長） 平成27年12月に学校給食運営方針を決定した。再検討については、教育委員会が主体的に責任を持って検討する。

代表質問

佐藤 清正 議員（壮志会）



上田をどう再構築するか

問 先の市長選挙の結果をどう受け止めているか。

答 （土屋市長）大変接戦であり激戦であった。他候補を支持された方々がどのような思いをお持ちかさまざまな形でお聞きすることが大事である。確固たる決意をもって市民の皆さまと共にチーム上田の精神上で田再構築を進める。

問 旧町村部の人口減少が一段と進行しているが地域間の均衡ある発展をどう再構築するのか。（土屋市長）地域内分権を一層推進し各地域の特徴や魅力を共有し市内全域の繋がりによ

り均衡ある発展を目指す。

問 市庁舎の改築をはじめ公共施設の改修や都市インフラの維持経費等財政需要が増大する中、財政の再構築をどう図るか。

答 （土屋市長）交付税措置のある起債の活用を図りつつ残り61億円余の合併特例債の活用を再度検討し、国・県の補助金等の積極的活用や公共施設整備基金の有効活用を図る。

地域医療再生

問 上田地域広域連合のふるさと基金を取り崩して行われている地域医療再生事業の成果をどう見るか。

答 （土屋市長）信州上田医療センターの医師数の増強が図られ、診療科や救急医療体制の充実が図られた。今後も地域医療体制の整備に取り組む。

地域交通

問 地域交通について利用者の立場に立った配慮はなされているか。

答 （翠川都市建設部長）市内の市営バスと路線バスの運行車両数は63台でバリアフリー対応の車両は55台である。運行事業者からは今後さらに高齢者に配慮し、ノンステップバスを計画的に導入する方針と聞いている。

高齢者福祉総合計画

問 第七期における施設整備が必要となる介護職員の見込みはどうか。（近藤福祉部長）概算で100人程度である。

その他の質問項目

・選挙公約七つの挑戦
・立地適正化等三計画

代表質問

山田 英喜 議員（上志の風）



市政の選択と集中

問 上田市は地方創生に対し、バランスよく産業の総合力を持って未来を築いていくとの方向性を示してきた。しかし財源も限られる中、上田再構築を実現していくには選択と集中をいかにできるかにかかっていると考えがどうか。

答 （土屋市長）選択と集中とは、強みのある事業分野を見極め、それに対して経営資源を集中的に投下し、経営効率や業績を高め、差別化を図る攻めの成長戦略と言われる。市政の推進でも限られた財源を有効に活用し、まさに私の再構築の考えは選択と集中による取り組みによって成し

遂げられるものと考えている。

上田市財政

問 国庫補助金や交付金等で国への要望額に対する交付率は。入ってこないものをどのように分析しているか。

答 （山口財政部長）国が予算の範囲内で優先順位等を勘案しながら配分する交付金の交付率は、平成29年度の道路整備等に充てられる社会資本整備総合交付金において、上田市の要望額に対して橋梁等の修繕事業で81%、通常の道路事業では32%という状況。交付金が削減された分は合併特例債の起債等を活用することにより、一定の事業量を確保したい。

国民健康保険の不正利用

問 年齢、性別、国籍がおおむね同一であれば、うそを見抜くことは困難だと言われている国

民健康保険の不正利用について、市はこれを見破る手段はあるか。

答 （近藤福祉部長）国民健康保険の加入の手続の際には運転免許証やパスポートなど顔写真のある証明、もしくは官公署発行の身分証明書等で本人確認をして保険者証を交付しているが、その後の実効性ある対策というのは難しいのが事実である。本来あってはならない不正利用を防止するため、被保険者に対する周知や情報提供など努めたい。

代表質問

半田 大介 議員（公明党）



市長の政治姿勢

問 市長公約7つの挑戦のうち、手話言語条例制定に向けた取り組みは。

答 （土屋市長） 今後の条例制定に向け、多くの皆様から意見を聞き、各自治体の手話関連施策、国の法制化等を注視し研究する。

補正予算

問 市長選挙後の今議会は市長が政策的予算を提案したが、市長査定の考え方は。

答 （土屋市長） 予算要求があった事業の中から理事者判断が必要な23案件を中心に審議を行い今回の補正予算に盛り込んだ。

日本遺産

問 歴史文化基本構想を策定し地域単独型で日本遺産の申請をする場合、ストーリーの内容は。

答 （中村教育次長） 市内文化財のうち、信濃国分寺跡、上田城跡、旧常田館製糸場等を核に古代から近現代までの時代、対象地域ごとに6のテーマを設定し検討を進める。

多文化共生の実現

問 上田市は県内で2番目に外国籍市民が多く暮らす都市である。長野、松本では研修、教室など交流拠点を設置しているが、設置の考え方は。

答 （小宮山市民参加協働部長） 外国籍市民数の動態を踏まえ、新庁舎の建て替えに伴う他施設への設置等も視野に研究する。

地域包括ケアシステム

問 今年度モデル事業の生活支援体制整備事業をどう進めるか。

答 （近藤福祉部長） モデル地区を城下、川西、塩田とし各地域の包括支援センターへ事業委託する。住民による支え合い活動を推進するため、支援組織や意欲のある住民が構成メンバーに加わることが望ましい。

高齢化社会と地域交通のあり方

問 高齢化社会への対応として地域交通政策が検討されてきたか。

答 （翠川都市建設部長） 今後は大きな時代の転換期を迎え、さらに高齢化社会に対応した公共交通の再構築を進めていきたい。

代表質問

古市 順子 議員（日本共産党）



資源循環型施設整備

問 堆肥化施設整備についての考え方はどうか。

答 （土屋市長） 堆肥化だけではなく先進自治体の事例などを参考に、飼料化、バイオマス化等有効資源として活用するための施設構築について庁内で調査研究を始めた。

子育て支援

問 市立保育園などでは予算不足のため修繕ができないことが多いが、必要な予算は確保すべきではないか。

答 （土屋市長） 保育所は安心して子どもを預けられる場所として、できる限り修繕に必要な

予算確保に意を配している。

地域医療
保健予防
福祉対策

問 介護予防・日常生活支援総合事業は充実を図る必要があるが、担い手の育成などどう進めるか。

答 （近藤福祉部長） 資源開発、関係者のネットワーク化、地域の支援ニーズとサービス提供主体のマッチング等のコーディネート業務を実施する生活支援体制整備事業を今年度よりモデル地域を設定して進めていく。

農業振興

問 新規就農者や農家後継者、定年帰農者、小規模農家、女性農業者など多様な担い手の育成や支援をどう進めるか。

答 （中澤農林部長） 国の施策活用、農産物

教育長の考え方

問 道徳の教科化は、国の規定する道徳的価値に沿って行われる仕組みができたり、徳目の押しつけになる心配があるが、見解はどうか。

答 （峯村教育長） 道徳は児童生徒の判断力、実践意欲の養成につながると考える。評価については国の指針に従い、適正に扱うよう徹底する。

一般質問

林 和明 議員（新生会）



上田市長選挙、市議会議員選挙

問 アリオ上田のような期日前投票所をふやすべきと思うがどうか。

答 （中村選挙管理委員会委員長）期日前投票所の増設に当たっては、

二重投票を防止するために全ての期日前投票所のオンライン化が必須であり、静かな環境で投票所を設置することができること、投票が円滑に行えるだけのスペースを確保できること、投票の秘密が保持できること、いかなる選挙でも同様の場所を借用できることなどの幾つかの課題がある。このため、期日前投票所の新たな増設については、これらの課題を慎重に検証し、円滑に期日前投票が実施できるかを判断した上で、設置の検討を進めたいと考える。

問 開票作業の改善点、工夫した点はどうか。

答 （中村選挙管理委員会委員長）主なものは2つあり、1点目として、市民の皆さんに速やかに速報を流すという観点から、開票開始時刻を15分繰り上げ、午後9時から開始している。また、投票用紙の流し方や職員配置を工夫したことにより、4年前の同選挙では速報の第2報である午後10時20分に公表していた各候補者の有効票の最初の速報を、今回の選挙では第1報の午後10時に公表した。2点目として、手作業で行っていた集計の際の候補者ごとの集計を、投票束の上に付けた付表のバーコードを読み込み、開票管理システムで管理する方法に改善し、速報ミスの防止に努めた。

その他の質問項目

・上田市立産婦人科病院

一般質問

池田 総一郎 議員（上志の風）



長野大学の大学改革

問 公立化前に市民と議会に示した改革案では、平成31年度に学部と学科の再編を行い、入学定員を30人に引き上げ、教員の資質向上に向けた取り組みを推進する」としていたが、来年度の実施に向けたこれら改革の取り組み状況はどうか。

答 （柳原政策企画部長）長野大学では今年度学内に大学院及び学部、学科再編の検討組織を設け、コンサルタントの支援を得ながら具体的な構想を策定し、学部学科編成計画及び大学院設置計画を確定することになっている。改革検討委員会報告書において目標とした平成31年度の学部、学科変更は困難な見通しで、中期計画期間中の実現を目指して鋭意検討を深めるとの報告である。また、入学定員については今年度から40人引き上げ340人

となっているが、学部・学科再編の時期に合わせ30人への増員を行う。現在の教員数は全学部56人のうち、教授が36人、准教授が16人、助教は4人である。博士学位取得者は平成28年度の22人に対して現在は24人にふえている。

高齢者の消費者被害

問 市内の特殊詐欺被害の状況はどうか。また、高齢者を狙う特殊詐欺以外の消費者被害はどのようなものがあるか。

答 （山口生活環境部長）3年前の平成27年には被害額が1億円を超えていたが、平成29年には被害額が27万円と大幅に減少した。特殊詐欺以外では電話での勧誘販売や訪問販売による被害がある。

その他の質問項目

・学校教育

一般質問

金子 和夫 議員（新生会）



かわまちづくり計画

問 国土交通省のかわまちづくり支援制度に登録されたが、千曲川と依田川が合流する付近の災害対策は怎么样了。

答 （手塚丸子地域自治センター長）千曲川の河床を掘り下げる事業が予定されており、支流の依田川・矢の沢川・小金久保川の水位上昇が抑えられ地域の安全、安心な生活環境の整備が進む。

問 かわまちづくり計画により、新たな市全体のにぎわい創出や健康づくりに繋げる意気込みはどうか。

答 （土屋市長）近隣には信州国際音楽村やマリコ・ヴィンヤードがあり、上田市初の梔子ワインリーの完成も待たれるほか、アウトドアをキーワードとしたランドマークとしての役割に期待でき、首都圏方面からの玄関口でもあり交流拠点として相乗効果が期待できる。さらに、市民にウォーキングやランニングで親しんでもらい健康づくりの視点でも、この場所が注目されるように積極的に進める。

高地トレーニング

問 太郎山登山競走がこれまで4回目を数えるほか、菅平高原ではトップアスリート達の合宿で有名だが、今後の高地トレーニング好適地としての取り組みはどうか。

答 （大矢商工観光部長）スポーツの聖地としての菅平高原と小諸市・東御市のそれぞれのエリアや施設との連携促進が一層の躍進につながると考えており、相互の利用可能な日程を共有し、利用者を紹介するなど相互の連携を図り、利便性を第一に対応していると聞いており、ことし9月完成の菅平高原アリーナの有効活用も考えられる。

点として相乗効果が期待できる。さらに、市民にウォーキングやランニングで親しんでもらい健康づくりの視点でも、この場所が注目されるように積極的に進める。

一般質問

石合 祐太 議員

平和行政

問 非核平和都市宣言を行う上田市長として、不戦、平和を誓った憲法に対する見解はどうか。

答 (土屋市長) 憲法が71年間改正されず、戦火に巻き込まれることがなかったことは永久平和主義をうたった憲法の果たす役割が非常に大きかったものと感じ、この憲法を遵守すべきことは当然の義務と考える。

上田市緑の基本計画

問 上田市緑の基本計画が目標年次を迎えるが、新たな緑の基本計画策定に当たり、市内の都市公園面積などを東信他の自治体との比較検討を行うなど、どのように反映させるか。

答 (翠川都市建設部長) 各自自治体の状況等により多様であり、単純に比較できないと思われるが、上田市は国の基準に



照らし一定水準の公園面積は確保されており、この現状を踏まえながら公園のあり方や方向性などについて計画の策定を進めていく。

問 市内の地域別都市公園面積は市全体として均衡のとれた公園配置を進めていくべきではないか。

答 (翠川都市建設部長) 各地域の公園面積、箇所数等の現状と課題を把握し、各地域の特色を生かして地域別に整備方針を定めたい。市全体の公園配置は、都市公園以外の公園も含めた市内の公園の全体的なバランスや地域ごとの住民1人当たりの公園面積等の状況、市民の皆さんのニーズや既存の公園を有効に活用した公園の再編成、再配置等も重要な視点になる。

その他の質問項目

・女性の活躍
・子どもの貧困

一般質問

佐藤 論征 議員(新生会)

インバウンド

問 母袋前市長が昨年5月に台湾を訪れトップセールスを行ったが、その効果はどうか。

答 (大矢商工観光部長) 昨年、台湾で開催された国際旅行博では、台湾観光協会の協力により上田市として初めて観光PRブースを出展したほか、観光や教育面では一層の交流などさまざまな展開につながっている。上田城千本桜まつりや上田真田まつりのツアーが実施されるなど、効果的な誘客にもつながっている。

問 著しい人口減少社会を迎える中、上田市の観光のさらなる成長戦略としてインバウンドの推進は非常に重要である。2019年ラグビーワールドカップに向けた菅平高原でのイタリア代表チームの合宿など上田市にとって、インバウンド

を推進する上で絶好の好機である。土屋市長の積極的なさらなるトップセールスが必要と考えるが、トップセールスをさらに推進する考えはあるか。

答 (土屋市長) インバウンドの絶好の機会と見据え、積極的な取り組みを図りたい。自らのトップセールスについては最も効果的な機会を捉え、判断していきたい。

パブリックコメント

問 ことし4月1日から上田市市民意見募集に関する要綱が定められ大変評価できる取り組みであるが、今後の周知の考えはどうか。

答 (小宮山市民参加協働部長) 広く周知を図りながら市政参加への関心を高めていくことが大変重要である。広報、ホームページでさらに周知を図る。

一般質問

斉藤 達也 議員(新生会)

子育て支援

問 潜在的な待機児童を減らす取り組みは。

答 (小林健康こども未来部長) 今年度4月時点で20名確認している。他の園の魅力も含め丁寧な入園案内に努める。3歳未満児受入の全体的な取り組みとしては、既存施設の改修のほか、小規模保育事業の新規認可を4件行い、さらに地域の子どもたちも一定数受け入れる企業主導型保育所との連携を図っていく。

問 放課後児童クラブの充実をどう進めるか。

答 (中村教育次長) 児童1人当たり16平方メートル以上を最低限のスペースと考えて、必要に応じた施設等の整備や改修を図り、子供たちにとって快適な環境となるよう対応していく。

中小企業の人材確保

問 自立したいと願う若者への就労支援を拡充できないか。

答 (大矢商工観光部長) 若者の自立支援に取り組む待学園のほか、若者サポートステーション・シナノなどの連携を促進するとともに、市就労サポートセンターの充実を図っていく。

問 移住希望者の就職について、マッチングの精度を高められないか。

答 (大矢商工観光部長) 紹介する企業の選択肢を多く用意すること、職歴や希望する職種の間き取りをしっかりと行うこと、さらに紹介した後もきめ細かなフォローをしていくことが重要と考えている。

その他の質問項目

・人口減少社会における公共施設のあり方



一般質問

西沢 逸郎 議員（新生会）



中央西地籍で発生した傷害事件

問 緊急速報メール配信が遅れた理由と、自治会長への連絡は、なぜ当日されなかったのか。

答 （山口生活環境部長） 学校・保育園等には上田警察署から注意喚起の連絡があつたが、この間市への連絡はなく、市から上田警察署へ問い合わせをして傷害事件発生

の認知をした。身近で起きた事件で不安が大きく、情報も必要であることから特に近隣の自治会長への配慮が足りなかったと考へている。

問 今後生かすべき教訓は何か。

答 （山口生活環境部長） 事件発生後、早期の情報提供を上田警察署に要望したところであり、今後は、上田警察署とさらに連携を図り、早期の情報提供に努める。

新体育館の整備

問 新幹線の近くにあり現在の場所に整備することが望ましいと考へるが、市長の見解は。

答 （土屋市長） 新体育館は上田市のスポーツ振興に寄与することはもとより、整備に係る費用、各種スポーツ大会の開催による交流人口の増加等、さまざまな影響を与える大きな事業となるので、多様な視点から検討を重ねながら取り組みを進める。

歳出改革の推進

問 県内他市の取り組みを参考に上田市も電力コスト削減の新しい取り組みができないか。

答 （土屋市長） 電力小売の全面自由化への対応は行財政改革の視点からも重要と考へており、先行する自治体の事例を参考にし、実施に向けて庁内の体制を整えたい。

一般質問

池上 喜美子 議員（公明党）



子どもの居場所づくり

問 全ての子どもが笑顔で幸せに暮らせるまちづくりのために、子どもの居場所として、食事の提供や学習支援、悩みごと相談など複数の機能や役割をもつ子ども食堂への市の支援の考えは。

答 （小林健康こども未来部長） 県が推進する信州こども力フェのよう

な、地域の大人と子どもがつながり、子どもの成長を支える場所は非常に大切であると認識している。地域や民間団体の主体的な取り組みで運営されている居場所が、継続的に開設されるよう、公共施設の利用、情報発信など、でき得る限りの支援をしていきたい。

学校安全の取り組み

問 学校の安全対策とその取り組みは。

答 （峯村教育長） 各学校に危機管理マニユ

アルの作成を指示し安全管理に努めている。防犯カメラやインターホンの設置など防犯用品の整備も順次進めている。

問 通学路の安全対策の強化として通学路の総点検を実施する考えは。

答 （中村教育次長） 通学路については、関係機関で構成する通学路安全推進協議会を中心に危険箇所を点検、把握し安全対策を講じていく。

里親支援

問 地域全体が里親制度への理解を深めるための市の取り組みは。

答 （小林健康こども未来部長） うえだみなみ乳児院が県から包括的里親支援事業を受託し、里親の開拓、支援のためにさまざまな事業を行っている。引き続き連携を図りながらできる限りの協力を行う。

資源循環型施設建設

問 以前の建設候補地の公募の際に希望があつた土地はどう考へるか。

答 （土屋市長） 具体的には、地域の皆さまのご要望をお聞きした上で、地域振興に関わる事業に活用することを検討したい。

問 最高レベルの安全性の高い施設建設に向けて専門家に依頼し丁寧に説明すべきと考へるかどうか。

答 （土屋市長） 広域連合と連携し、専門性の高い専門家等の派遣について、今後十分検討していきたい。

問 昨年の自治会説明会では、自治会費相当額の交付を求める意見もあつたが、どう考へるか。

答 （山口生活環境部長） 今後、地域の皆さまのご要望等をお聞きする中で地元自治会や関係団

一般質問

宮下 省二 議員（壮志会）



体に地域振興などに役立てて頂くことについても検討したい。

問 地域振興策は、建設計画と同時に進めるべきと考へるかどうか。

答 （土屋市長） 資源循環型施設建設と周辺地域の振興策は、並行して計画立案し、双方の実現が促進されるよう取り組んでいきたい。

新教育長の所感

問 所感を伺う。

答 （峯村教育長） 教育とは人づくりであり、全ては子どもたちのためにを教育理念として、子どものために何ができるのか、どうあるべきか、この思いを学校現場を預かる教職員と共有し、現場の声に耳を傾けながら現場第一主義を貫いていきたい。

一般質問

齊藤 加代美 議員（新生会）



上田市立産婦人科病院の特色を生かした理念経営

問 B F H 認定（赤ちゃんにやさしい病院）

としての実践、母乳育児の推進はなされているか。

答 （小林健康こども未来部長） 母子育児支援の取り組みを強化するために、院内に母乳育児支援委員会を組織し、母乳育児に対する調査研究の取り組みを行うことで、母乳育児率も年々向上しており、昨年度の退院時の母乳率の実績は87%である。また、「命を繋ぐ、命を育む、産み育てる、それは母乳育児が原点にある」をテーマとした助産師による「命の大切を伝える性教育」を出前講座として始め、昨年度は市内で全中学校に講座を実施した。この講座を聞いた当時生徒であった方が母親となり出産された方からは、「中学生のときに参加した講座での母

乳の話覚えていて」「自分が子どもを母乳で育てたので子どもにも母乳で育ててほしい」と思うようになったとの声が寄せられた。今後も母乳で育てることの意味やその大切さを次世代へ紡ぐ取り組みになつていくことが期待できる。

お産から切れ目のない子育て支援

問 産後うつへの予防、早期発見のための施策を検討しているか。

答 （小林健康こども未来部長） 産後2週間目に健診を行う産婦健康診査の導入について、今後前向きに検討したい。10月から子育て支援施設ゆりかごにおいて、母子保健担当と産婦人科病院が協働で専門職の助産師を派遣した産後ケア事業を実施する予定である。

その他の質問項目

・公共施設の利用

一般質問

久保田 由夫 議員（日本共産党）



子どもの貧困対策

問 子どもの貧困問題が社会問題として広く国民に認知され、国では「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が制定された。市長の見解は。

答 （土屋市長） 上田市で育つ子どもたちの将来が生まれ育つた環境によって左右されることのないよう、全ての子どもたちが夢と希望を持つて成長し、上田市で育つてよかったと思える社会を実現することは、市としても、大きな責務であると認識している。

問 高校生向けの奨学金制度の充実についての見解はどうか。

答 （土屋市長） 高校生を対象とした給付型奨学金は、平成28年度に創設した制度で、返済義務のない給付型であり、小中学校の就学援助に近い制度とすることで、小中学校から高校まで切れ目のない支援を目指している。必要に応じて制度の拡充、見直しについて検討していく。

「公約」された大学等への奨学金制度については、支給条件として、定住促進の視点から、「市内定住」を加えてはどうか。

答 （土屋市長） 奨学金の目的は、経済的な理由により進学が困難な生徒、学生を救済するために、貸与または支給するものである。このほか、人口減少時代の中で、定住、就業の視点から大学の卒業生が定住し、地元企業の就職に結びつけることを目指す目的のものもあると理解している。広く全国の先進事例を参考にし、よりよい上田版給付型奨学金制度となるように取り組む。

一般質問

井澤 毅 議員（新生会）



立地適正化計画

問 市民にとつてのメリット・デメリット

は。

答 （翠川都市建設部長） 少子超高齢化、人口減少が進む中、良好な生活環境や持続可能な自治体経営を将来においても持続するために拠点集約型都市構造への転換を目指す計画である。策定されると居住誘導区域外における3戸以上の住宅の建築等については市への届け出が必要となる。

問 計画策定には多くの関係部局との協議や調整、民間事業者や市民への説明や意見の吸い上げが大前提だが、どう考

えるか。また、予定スケジュールは拙速ではないか。市民の理解を得られない場合は見直しもあるのか。

答 （翠川都市建設部長） 関係部局への説明や意見の吸い上げが、関係部局への説明や意見交換は21回開催した。

問 上田市の将来像を左右するような計画は、誰がどのような形で決めていくべきものと考えているか。

答 （翠川都市建設部長） 行政、市民、市議会など共通の認識の中で進めるべきものと考えている。

問 上田市の将来像を左右するような計画は、誰がどのような形で決めていくべきものと考えているか。

答 （翠川都市建設部長） 行政、市民、市議会など共通の認識の中で進めるべきものと考えている。

一般質問

渡辺 正博 議員（日本共産党）



学校給食について

問 上田市学校給食運営審議会の答申をどのように認識されているか。（土屋市長）

答 観点からの答申で、上田市の学校給食が次世代を担う子どもたちを育み、市民が生涯にわたって健康で充実した生活を送ってほしいという審議会の皆さまの願いが込められた答申であると認識している。

問 老朽化が著しい第二学校給食センターについては、改修工事により最大限延命化を図るとともに、上田地域の東塩田小、川辺小の2校を除く小学校14校については自校式が望ましいとした答申を最大限尊重することとしてはどうか。

答 （土屋市長）学校給食の施設整備については、教育委員会に再検討を依頼した。議員ご提案の点についても、ご意見として承っているので、教育委員会に検討を依頼したと理解していただきたい。

交通安全事故のない安全・安心なまちをめざして

問 上田市交通安全条例中の市の責務として、交通安全の確保に関する基本的かつ総合的な施策を実施するものとしている。交通安全事故のない安全・安心な上田市を目指し、体系的に推進する計画を策定することについてどうか。

答 （山口生活環境部長）市では、交通安全計画を策定していないが、交通安全対策の総合かつ計画的な推進を図るために必要なものであると認識しているので、県内他市の計画内容等を調査し、策定について研究していきたい。

生ごみ減量政策

問 生ごみ専用回収袋の採用と水切り機器の無料配布を実施できないか。

答 （山口生活環境部長）生ごみ専用袋導入の考えはないが、より小さい少量排出者向けの燃えるごみ袋については検討する。また、三角コーナーや水切り機器を市民に配布する考えはないが、利便性や有効性、継続使用等が確認できれば頒布を検討したい。

問 大型生ごみ処理機を公共施設へ積極的に導入することはできないか。

答 （山口生活環境部長）設置場所の選定が課題で、学校等を含む公共施設への設置は有効な手段であり、設置できればその施設を拠点とした新しい地域コミュニケーションの形成なども期待できる。関係部局との調整を図りながら設置を検討する。すでに一部の小学校や保育園、食事を提供する公共施設には設置が進んでおり、生ごみの堆肥化を実施している。

問 生ごみの減量化や堆肥化施設等を民間で設置・運営する際の支援策を検討できないか。

答 （山口生活環境部長）民間事業者への市の支援制度はないが、市が独自に施設を設置するよりも民間の施設を有利に活用できる場合は補助も検討する。また民間事業者の生ごみ処理・堆肥化施設等を市が利用できる場合には、設置場所、処理能力、コスト、堆肥の還元方法を総合的に勘案して、民間活用も考えられる。他市の事例や市民の意見をお聞きしながら、事業者への助成について検討したい。

本会議を傍聴されたみなさんの声

～こんなご感想・ご意見をいただきました～

6月定例会において、本会議を傍聴された方は延べ93人でした。傍聴された皆さんには、ご感想やご意見をアンケート用紙に記入していただいています。お寄せいただいたご感想、ご意見の一部を紹介します。

- 市政について、詳しい話を聞くことができてよかった。（60代・女性）
- 質問、答弁については、分かりやすい言葉でお願いしたいと思った。（60代・女性）
- 時々議会を傍聴しているが、できる限り多くの人に傍聴してもらうことで議会も活性化と思う。（50代・男性）

傍聴者の声



一般質問

金沢 広美 議員（公明党）



安定的な水の供給を確保するために

問 老朽化に伴う布設替えは、全国平均で0.75%、全て終わるのに130年かかるといわれるが上田市はどうか。

答 （竹花上下水道局長）平成29年度は4.7キロメートル、更新率で0.49%。今年度から年間7.5キロメートル・更新率0.7%を予定する。

問 市内管路の耐震化率はどうか。

答 （竹花上下水道局長）平成28年度末で耐震適合率は全管路で31.7%、うち基幹管路で34.7%となり、全国（長野県平均）を下回る。基幹管路の耐震適合率を平成34年度までに50%を目標にする。耐震化への対応は急務である。

問 水道料金見直し時期の平成33年度以降の料金の見込みはどうか。

答 （竹花上下水道局長）現在の水道事業は、

一般質問

松尾 卓 議員（公明党）



防災拠点としての指定避難所等への公衆無線LAN（WiFi）整備

問 災害時に必要な情報伝達手段を確保するため指定避難所等である市内小中学校体育館への公衆無線LAN整備が有効だ。一方で学校現場では新学習指導要領の実施もふまえ、教育のICT化に向けた小中学校の普通教室への公衆無線LAN整備が課題だが、災害時と平時の利活用を想定し、国の補助制度を用いるべきと考えるがどうか。

答 （神代総務部長）公衆無線LAN整備は災害時だけでなく平時にも効果的な利活用が可能であり、事業効果の高い取り組みと捉えている。総務省と文部科学省の二つの補助制度を有効に活用するとともに、市の整備方針を定めて計画的に進める。

さらなるバリアフリー化

問 高齢者や障害のある方等が参画する会議を開催し、障害特性に応じた意見や要望を反映させる庁内横断的な検討組織を設置すべきと考えるが見解はどうか。

答 （近藤福祉部長）バリアフリー化は全部局が障害の有無、性別、年齢にかかわらず誰もが住みよいまちづくりという共通認識で取り組む。立地適正化計画を進める施策の一つとして、一体的、計画的な移動環境の整備を促すためバリアフリー基本構想を策定すべきと考えるが、市の見解はどうか。

答 （翠川都市建設部長）バリアフリー基本構想の策定を検討する上で民間の事業者や施設管理者等のご協力が不可欠であるという実情に即して判断していく。

傍聴者の声
（つづき）

- 市政の現状を知る良い機会となった。（70代・男性）
- 初めて議会を傍聴したが、おとなしい感じを受けた。（60代）
- 市民対象の細かい協議であると感じた。（80代・女性）



議会を傍聴しませんか。

議会では、市民の皆さんの身近な問題や上田市の予算や政策など、さまざまな事柄について、活発な議論が交わされています。

- 傍聴ができる方は？ ⇒ どなたでも議会の傍聴ができます。
- 事前の手続きは？ ⇒ 市役所本庁舎5階の議会事務局で受付をして傍聴券を受け取ってください。氏名などをご記入いただく必要はありません。
- 予約の必要は？ ⇒ 事前予約の必要はありません。（ただし、大人数での傍聴にお越しの場合は事前にご相談ください。）

■議会の日程は、上田市議会ホームページをご覧くださいか、議会事務局へお問い合わせください。



一般質問

小坂井 二郎 議員（新生会）



ふるさと納税制度

問 導入から10年経ったが、現状はどうか。

答 （柳原政策企画部長）市外に納税した人は、平成20年度が10人、平成29年度で1678人、市への納税額は、平成20年度が3668万円、平成29年度が1億1282万円である。

問 返礼品の充実を提言してきたが、昨年のひょうりんの取り扱いは話題になった。今後の取り組みはどうか。

答 （柳原政策企画部長）ポータルサイトに190

品目を掲載中だが、新たにサイトをふやして、上田の魅力発信していく。

国の「働き方改革」

問 市役所に高度プロフェッショナルに該当する職種はあるか。

答 （神代総務部長）地方公務員は制度の対象外である。

問 同一労働同一賃金の議論もあるが市役所に該当する職種はあるか。

答 （神代総務部長）非常勤職員は、補助的業務で職務等に差があり該当しない。臨時保育士は、環境整備を図っている。

上田城千本桜まつりと真田まつり等の成果

問 今年は桜の開花が早かったが、観光客や車・バスの台数・売り上げはどうだったか。

答 （大矢商工観光部長）来場者数は昨年比30%減の約25万人、バス台数は昨年比30%減の57台、売り上げは昨年比37%減の1382万円余。

問 物販業者等は販売許可時期が合わず困惑していた。営業開始が1日早められて感謝していたが、来年から柔軟な対応は可能か。

答 （大矢商工観光部長）可能な限り収益を上げる改善策を検討する

一般質問

中村 悠基 議員（上志の風）



上田市の人口問題

問 人口、経済、税収の面からも、上田市の人口をふやし、経済規模を大きくし、税収をふやすと目指すくらいの意気込みで取り組めないか。

答 （土屋市長）それぞれ増加、拡大することとは難しい問題であるが、市の政策として、人口減少を抑えていく取り組みとともに、上田市の持続的な発展のため、また市民サービスをより向上させるためにも、地域経済の成長と税収の増加は上田市にとって留意すべき重要な課題であると捉えている。

問 人口の維持や減少数の抑制ではなく、人口をふやすための施策で、予算を考慮しなければ実施ができる効果のある施策はあるか。

答 （柳原政策企画部長）出産から子育て、就業などにおける手厚い支

農業振興、被害対策

問 防ひょうネットを購入した際の金銭的補助は行っているが、設置等の人的な支援も行えないか。

答 （中澤農林部長）アグリサポート事業にこうした作業もサポート事業に含めていただけないか、運営委員会と協議、検討したいと考えている。

問 梶子ワイナリーへの年間の来訪者予測をしているか。

答 （手塚丸子地域自治センター長）年間3万人程度を見込んでいる。

市議会だよりがアプリで読めるようになりました！



マチイロ

マチを好きになるアプリ

■ 「マチイロ」とは地方自治体の広報紙などの新着情報を受け取ることができるスマートフォンやタブレット向けのアプリです。

ご覧いただくには、右のQRコードから、またはApp StoreやGoogle Playで「マチイロ」と検索して、アプリをダウンロードしてください。



6月定例会 請願の審査結果

請 願

件 名	提 出 者	審査結果
安倍首相の下での憲法 9 条改定の発議に 反対する請願	上小地域「9 条の会」連絡会 代表 島田佳幸 氏 (紹介議員 成瀬拓議員、石合祐太議員)	不採択
核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准 を求める意見書採択についての請願	新日本婦人の会上田支部 支部長 深町吉恵 氏 ほか 2 人 (紹介議員 古市順子議員、石合祐太議員)	不採択
消費税 10%への増税中止を求める請願	上田小県民主商工会 会長 橋本春雄 氏 (紹介議員 渡辺正博議員)	不採択

◆ 皆さんの要望を市議会に請願・陳情できます。 ◆

市議会では、皆さんの要望などを請願や陳情として受け付けています。

提出された請願や陳情は内容を審査し、採択か不採択を決定します。

■ 請願について

請願は、所管する常任委員会に付託して審査を行います。その結果をもとに、本会議で結論（議決）を出します。請願は、請願を紹介する議員が必要です。

■ 陳情について

陳情は、紹介議員は必要ありません。一部を除き、受理された場合は所管する常任委員会に付託して審査を行います。本会議での議決は行わず、委員会の審査結果を本会議で報告します。

■ 請願・陳情の記載要件

- ・ 日本語を用いること
- ・ 次のことが記載されていること

趣旨、提出年月日、住所及び氏名（※法人の場合はその名称及び代表者の氏名）、

請願・陳情者の押印、紹介議員の署名または記名・押印（※請願の場合）

■ 請願・陳情の趣旨説明

請願・陳情の趣旨を明確にするために、提出者の希望によりその趣旨を説明する機会を設けています。詳細は議会事務局にお問い合わせください。

次回の 9 月定例会で審議・審査する請願・陳情の提出期限は 9 月 4 日(火)の午後 3 時です。

上田市議会ホームページは情報満載！

～議会ホームページでは次の情報を見ることができます～

市 議 会 情 報	○定例会・臨時会の日程 ○意見書・決議 ○議会報告会 ○市議会カレンダー
市議会のしくみ	○市議会のあらまし ○議会傍聴のご案内 ○請願・陳情について
市 議 会 議 員	○ 議員名簿・各種委員会名簿 ○議長交際費 ○政務活動費 ○ 委員会視察報告 ○会派視察報告
うえだ市議会だより	会議録検索システム

なお、議員の活動については、議員名簿に掲載されている議員個人のホームページからご覧いただくことができます。

上田市議会では、「上田市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するための必要な経費の一部を政務活動費として交付しています。

政務活動費の額は議員一人当たり年額24万円で、議会の各会派に対して所属する議員の人数分の額が交付されています。

また、政務活動費の収支報告書の提出に当たっては、議会内の取り決めにより、全て領収書をつけて報告することとしており、その内容についてはごなただでもご覧いただけます。

各会派の政務活動費の収支報告

(単位:円)

会 派 名		新生会	創始会	日本共産党	公明党	上田新風会
交付額（預金利息含む）		2,640,014	1,920,005	960,002	960,001	720,003
支 出	調 査 研 究 費	1,877,724	1,155,816	338,840	558,301	108,198
	研 修 費		480,568	427,416	168,196	
	広 報 費			53,000		106,130
	広 聴 費					
	要請・陳情活動費					
	会 議 費					
	資 料 作 成 費			84,803	134,756	20,587
	資 料 購 入 費	3,560	26,570	37,189	8,360	3,987
	人 件 費					
	事 務 所 費					
	そ の 他 の 経 費					
	支 出 計	1,881,284	1,662,954	941,248	869,613	238,902
残額（戻入額）		758,730	257,051	18,754	90,388	481,101

上田市議会が条例で定めている政務活動費を 充てることのできる経費の範囲

項 目	内 容
調 査 研 究 費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に要する経費
研 修 費	1 会派が行う研修会の実施に要する経費 2 団体等が開催する研修会への所属議員の参加に要する経費
広 報 費	会派が行う市政及び会派の活動に関する住民への報告に要する経費
広 聴 費	会派が行う住民からの市政及び会派の活動に対する要望及び意見の聴取、住民相談等に要する経費
要請・陳情活動費	会派が行う要請・陳情活動に要する経費
会 議 費	1 会派が行う各種会議の開催に要する経費 2 団体等が開催する意見交換会等各種会議への所属議員の参加に要する経費
資 料 作 成 費	会派が行う活動のために必要な資料の作成に要する経費
資 料 購 入 費	会派が行う活動のために必要な図書、資料の購入に要する経費
人 件 費	会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費
事 務 所 費	会派が行う活動のために必要な事務所の設置及び管理に要する経費

平成29年度政務活動費の収支を報告します。

第4期 上田市議会 会派紹介

第4期上田市議会には5つの会派があり、それぞれ活発に活動しています。

会派とは、市政に同じ考え方や意見を持った議員が結集して、自分たちの考えを議会の場で反映させるため設置する団体です。上田市議会では、会派は3人以上の所属議員で構成されることが条件です。

また、会派にはそれぞれ、議会内に議員控室が割り当てられるほか、会派単位で政務活動費が支給され、市政に関わる調査・研究等の議員活動を行っています。

今号では、上田市議会の5つの会派について、それぞれ紹介します。

なお、石合祐太議員は、会派には所属しておりません。

新生会

「新生会」は、平成18年の合併時に結成され、選挙において無所属で立候補した議員11名（男性10名・女性1名）の会派で、年齢構成は30代1名、40代2名、50代6名、60代2名と働き盛りの議員が多く、教育・産業・子育て・福祉や医療といった幅広い課題に対し、さまざまな世代の意見を代弁できることが特徴です。

また、選出地域も丸子・真田を含めた市内全域に渡りバランスも持ち合わせています。基本的な考え方は、二元代表制の一翼を担う議会の最大会派として、市長部局とは常に対等の立場で、特定の相手との関係にとらわれることなく、議案に対して賛成できるものは共に推進し、変更した方が良いと思えることに対しては意見を言える、公平でしがらみのない是々非々で臨んでまいります。会

派内においては、定期的に会議を開催し、新人議員の分からないことは期を重ねた議員がこれまで

の経緯を含めしっかりと説明をし、若い世代の議員の新たな意見には耳を傾け、時代に即応できるようにお互いが資質の向上に努めています。

今後も、上田市の発展のため、市民の幸福感向上のため活動してまいります。

代表 尾島 勝
代表代理 西沢 逸郎
齊藤 達也 齊藤加代美
井澤 毅 林 和明
佐藤 論征 金子 和夫
小坂井二郎 土屋 勝浩
松山賢太郎



壮志会

「壮志会」は「上志の風」と伴に第三期上田市議会の発足時に結成された「創始会」を分立して結成した会派でございます。会派規約でお互いを「協働会派」として位置付け、目的達成のため研修や研究、広聴や広報活動において双方の主体性を尊重し協働して取り組むことを確認しています。

私たち壮志会はいささか高齢者集団の感がありますが、壮年の志高く総力をもって取り組んでまいります。

私たち壮志会は、自由と民主主義を基調とし市民福祉の向上と安心安全な活気ある地域づくりを推進するための政策提言とその実現を目指し活動を展開しています。

この5月には、上田市でも顕在化してきた空き家問題について国の法制化に先駆け「空き家条例」を制定した塩尻市の行政視察を16日に実施させて頂きました。また22日には市にとって最重要課題である資源循環型施設

の有化を図りました。

また、6月1日には早稲田大学環境総合研究センターによる人口減少問題や施設マネジメント等の研修に参加するなどスピード感をもって活動を展開しています。

私たち壮志会はいささか高齢者集団の感がありますが、壮年の志高く総力をもって取り組んでまいります。

代表 佐藤 清正
代表代理 宮下 省二
金井 清一
原 栄一
小林 隆利



上志の風

上志の風は「上田の上昇を志す同志が動き、風になる」との想いで旧「創始会」から分立して、今年4月に立上げられた新会派です。メンバー5名の平均年齢は46歳。医療・福祉、農業、ものづくり、教育と専門分野も多岐にわたたり、会派全体として市政の各分野に対して政策提言のできる構成となつています。協働会派の「壮志会」とは意思疎通を図り、相互の主体性を尊重しながら活動をするとし、会派の方針としては、政務活動費の多くを占める5人での県外視察の内容や比重を精査しながら、上田市内の身近な課題解決に向けた研修や勉強会及び広報・広聴活動へ振り向けるなど、政務活動費の活用方法を見直します。人口減少や少子高齢化など、先行きの不透明なこの時代にあつて、私たち「上志

の風」は上田市の可能性と10年後20年後の明るい将来像を描きながら、会員相互の研鑽に励み、市民目線で政策立案・提言を行えるよう一致団結して市民満足度の高い上田市の実現を目指してまいります。市民の皆様にご期待ください！

代表 山田 英喜
代表代理 池田総一郎

中村 悠基
飯島 伴典
南波 清吾



公明党

私たち公明党上田市議団は、国民政党、公明党に所属する議員4名の会派です。3月の改選後、2期目2名、3期目1名、5期目1名。平均年齢は57歳です。

会派の理念「真の人間主義に立脚し、どこまでも人間から出発する社会、人と地域が輝く社会をめざす」に基づき、議員ひとりひとりが、日々、皆様から頂く相談・提案から市政の課題を捉え、議員活動を行っております。

今期は特に、①子ども

の居場所づくり、②高齢者の移動手段の確保、などを重点課題として私たちは話し合い、市政提言に向け調査研究を行っております。

さらに「小さな声を聴く力」を磨き上げることが少子高齢者化社会、人口減少社会へのまちづくりに重要であり、議会での一般質問、委員会審議

と共に、市長に対し「子ども医療費窓口無料化」

「通学路の安全確保」などの緊急提言。毎年、翌年度の「予算提言書」提出などを通じ、暮らしやすい上田市を目指し今後も活動を進めます。

なお、私たちの活動は

市議団フェイスブックページ等で報告していますので是非ご覧ください。

代表 半田 大介
代表代理 池上喜美子

松尾 卓
金沢 広美



日本共産党

日本共産党上田市議団は、前期と同じメンバー4人で構成。市民の声を市政に届け、反映させるために全力で活動をしています。

昨年、市議団独自の「市民アンケート」を実施。大規模学校給食センターには、慎重・反対の回答が多く、500通以上のご意見はそのまま、市教育委員会に届けました。5月2日には土屋新市長と大規模学校給食センターの大幅見直しなど3項目で懇談しました。

市民の要望実現や市政をチェックするために、一般質問を重視するとともに、毎年12月には市政全般にわたり、市民要望を「予算要望書」にまとめ市長に提出、懇談しています。また、市議会に出される陳情や請願には、真摯に対応し委員会・本会議でも積極的に討論を行っています。国

政についても市民のご意見をしっかりと届けることが、地方議会の重要な役割であると考えます。

私たちは、戦後政治の原点である日本国憲法の精神を活かすとともに、「住民の福祉の増進を図る」（地方自治法）ために、これからも4人が力を合わせてがんばっていきま

代表 古市 順子
代表代理 渡辺 正博

成瀬 拓
久保田由夫



第 8 回上田市議会「議会報告会」開催

議員が各会場へ出向き、市民の皆さんに直接報告・説明するとともに、皆さんの声をお聞きする「議会報告会」を開催します。

8 回目の開催となる今年度は、従来方式と出前方式の報告会を開催するほか、今年度で 4 回目となるテーマ別車座集会を常任委員会ごとに開催します。テーマ別車座集会の開催は、各常任委員会単位で設定したテーマに沿った形で行います。

ぜひお出かけください。



◇「出前報告会」～あなたのまちへお伺いします～

今年度から新たな試みとして、議員が市民の皆さんの所へ直接お伺いし、各常任委員会からの報告の後、質疑にお答えします。

【申し込み方法】

- 対 象 おおむね 10 名以上のグループ
- 会 場 応募者の皆さんで会場の確保をお願いします。
- 開催日 10 月 19 日(金)から 26 日(金)まで(土日を除きます。)
- 時 間 午後 2 時から、または午後 7 時から(約 1 時間 30 分)
※ 10 月 23 日(火)と 25 日(木)は午後 7 時からのみとなります。
- 連絡先 8 月 31 日(金)までに電話で上田市議会事務局までご連絡ください。
[電話番号: 22-0452 (上田市議会事務局)]
- その他 ご希望の日時が重複した場合は先着順とさせていただきます。

◇ 報告会

昨年同様に各常任委員会からの報告の後、質疑にお答えする対面形式で行います。

お申込み不要でどなたでも参加できます。 以下の日時及び各会場で開催されますのでお出かけください。

開 催 日	時 間	会 場
10 月 22 日(月)	午後 7 時～8 時 30 分	サントミューゼ
10 月 23 日(火)		上野が丘公民館
10 月 24 日(水)		塩田公民館

◇テーマ別車座集会

常任委員会ごとに設定したテーマに沿って意見交換する車座形式で行います。

未来に向けたまちづくりのため、常任委員会ごとにテーマをしばり、委員会の所属議員が、直接市民の皆さんと意見交換を行います。興味や関心のあるテーマをお選びいただき、積極的にご参加ください。

委員会	総務文教委員会	産業水道委員会	厚生委員会	環境建設委員会	広報広聴委員会
テーマ・開催日時等	各常任委員会のテーマ、実施日時及び会場については決定次第、広報うえだ及び上田市議会のホームページでお知らせします。				

上田市議会フェイスブックと
ツイッターを開設しました。

- それぞれ議会の活動をお知らせしますので、ぜひご覧ください。
ご覧いただくには、それぞれのQRコードからアクセスしてください。



Facebook



Twitter

編集
後記

今回の市議会だよりは、選挙後初の 6 月定例会における、土屋新市長の市政運営方針・施策及び各種行政課題に対する質問等を掲載しています。初めて質問する議員を見て、「明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ。」との先人の言葉のように真摯な姿勢に感銘しました。

市議会だよりは市民にとって政治を把握し議会の諸活動を知るための貴重な媒体です。広報広聴委員のメンバーも一新し、これからの 2 年間広報活動の推進として、分かりやすく読みやすい紙面を目指して努力いたします。秋には「議会報告会と車座集会」を予定しています。皆さまのご参加をお待ちしております。

(金沢 広美)